

令和7年 5月 8日

保護者の皆様へ

人間環境大学附属岡崎高等学校

校長 横山 博文

「花便り」 第2号

新緑の候、保護者の皆様におかれましては、ご清栄のことと存じ上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、今年のゴールデンウィークは平日に挟まれていたため、まとまった連休としては後半の4日間でしたが、ご家族でゆっくり過ごされたでしょうか。今月は19日（月）～22日（木）の間、第1学期中間考査があります。1年生にとっては、本校での初めての定期考査であり、3年生にとっては進路決定に向けて挽回する、または積み増すために残された、数少ない限られた定期考査のうちの1回です。2年生にとっても言うに及ばず、1年後の進路決定を考えれば、おのずと1回の定期考査の重要さは理解できると思います。しっかりと受験対策をして臨むよう学校でも指導しますので、ご家庭でも励ましの声掛けをお願い致します。校内では新芽から新緑に、花はヒラドツツジが満開を迎えています。今回の「花便り」第2号は、前回の入学式での式辞に続き、2・3年生の始業式での校長からの式辞を掲載します。今年度から本格的な学校改革を行う本校の、改革の中身と意図を具体的に示していますので、ご一読の上、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和7年度 1学期始業式 式辞

生徒の皆さん、おはようございます。

2年生、3年生の皆さん、いよいよ令和7年度が始まりました。学校は今日の2、3年生の始業式、および明日の入学式に向けて準備の最中であり、新年度の始まりにふさわしい慌ただしさに包まれています。そんな中、今年、令和7年度より皆さんの学校生活における大きな変更点がいくつかありますので、その点について先生の立場で説明していきます。よく聞いておいてください。

まず1点目、授業の時間を5分短縮し、45分授業を標準とします。その代わりに、朝のSTの時間を5分伸ばすとともに、1日の授業が終わった後、教室清掃と終わりのSTの時間を確保することとにしました。目的は、担任の先生の連絡事項をしっかりと聞く時間を確保すること、自分たちの教室を自分たちで掃除することで美化に対する意識を高め、物を大切に、学校を大切にする心を培ってもらいたい、という願いからです。併せて、それ以上に、掃除の時間やST後の時間を使って、先生と生徒の皆さんと一緒に

過ごす時間を増やし、コミュニケーションをとることで、皆さんに安心した学校生活をおくってもらいたいという願いからです。是非、この時間を活用して先生方との相互理解と信頼関係構築を図ってください。ちなみに先生方にも学校美化に対する意識を高めてもらう目的で、この春休み中に職員室の整理整頓をし、見違えるほど、きれいになっています。

2点目は、昨年10月から、黎明館入り口の頭上に掲げられたボードに書かれている内容に関してです。まずは、今年度の学校方針を「全ての生徒が幸せに 自己を肯定し 挑戦する人に」というキャッチフレーズを定めました。先生たちは皆さんの支援者であり、伴走者です。本校での3年間の学校生活が皆さんの人生において幸せの礎になる3年間になることを願ってのキャッチフレーズです。また、その流れを受けて、現在の特進と進学の2コースから3つのコースに、コースを再編します。すなわち新1年生の学年より、進学コース、スポーツ進学コース、特進コースの3コース制にし、それぞれのコースに特色を持たせ、生徒の皆さんがより充実した学校生活をおくることができるよう、仕組みや中身を変えました。進学コースでは「シン探究」の時間を自分が学びたい科目を選択できるようにし、スポーツ進学コースでは自分が所属する競技を極めるため、実質、部活動として活動できる時間を大幅に増やしました。更にスポーツ進学コースはもう1年先の令和8年度より、ダンス部と新たに作る男子サッカー部を加え、強化部が7部活体制に変わっていきます。特進コースでは「リアルドラゴン桜プロジェクト」を導入し、行ける大学ではなく行きたい大学に行く をキャッチフレーズに、大学進学に向けたモチベーションアップを図る内容の講座を受講します。皆さんは直接的にこの変化に関わることは少ないとは思いますが、今年から始まる学校改革で、校内の景色が変わっていくことを楽しみにしてください。

3点目は、生徒の皆さんにとって、どんな学校なら楽しくて好きな学校になれるのか、という視点で考えて、学校行事の活性化や、校則やルールの変更、サポート教室の開設など、全ての生徒に居心地の良い学校になるよう、変わっていきます。但し、居心地のよさとは、全員の我儘が叶うという意味ではないので、そこははき違えないようにしてください。家族や先生方、周囲の友人や地域の方々など、皆さんの一人一人の周りには、自分と関係する人がたくさんいると思いますが、そうした人たちへの感謝やちょっとした気配り、配慮ができる人になって、全校生徒のみんなが、居心地の良さを感じられる、そんな学校に生まれ変わっていく、という意味です。これらの変更は皆さんにも直接的に関わってくることで、その都度、関係する部署や担任の先生方から説明を聞くことになります。しっかりと聞いて、変わる学校を実感してください。学校は常に皆さんの将来に何が有益かを考え、変えるべきは変えていきます。私の好きな言葉に、書家で思想家の相田みつおさんの言葉があります。「奪い合えば足らぬ、分け合えば余る」という言葉です。生徒の皆さんも、家族や友人の優しさを奪い合うのではなく、1人1人が持つ優しさを分け合って、優しさと親切があふれる誰もが居心地の良い学校にしていきたいと思います。

いよいよ新しい学年が始まります。新しいクラス担任の先生との出会い、新しいクラスメイトとの出会い、部活動での後輩との出会い、春は出会いに満ち溢れています。全ての出会いを大切に、良いスタートを切ることができるよう願って、式辞とします。

人間環境大学附属岡崎高等学校 校長 横山 博文